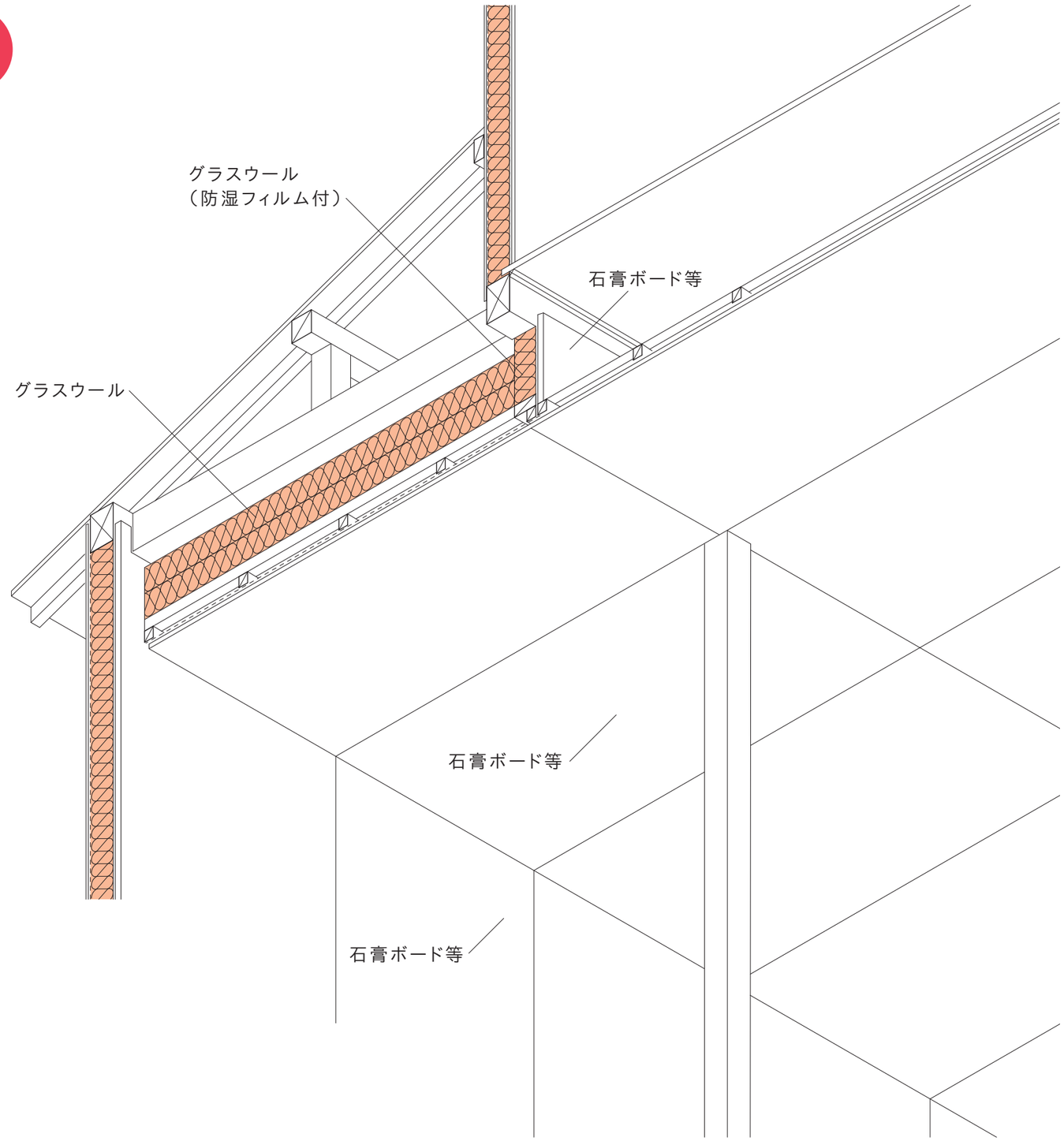
4



- 天井全面に石膏ボード等の仕上げ材を張る。
- 天井断熱の場合、断熱層や防湿層の欠損を防ぐためにシーリング（直付け）式の照明器具の使用が望ましい。埋込み式の照明器具を使用する場合は、機器の選定、施工方法について各メーカーに確認すること。
- 天井点検口を設ける場合は、断熱材が付属した点検口を使用し、点検口の周囲と別張りの防湿シートを気密テープで張り合わせること。

断熱・気密ナビ（dankinavi.jp）に掲載のテキスト・図版などの著作権は、その著者・制作者およびYKK APに帰属します。無断での転用・転載は禁止させていただきます。
同サイトで掲載している納まりは参考図です。この納まりに基づいた施工によって生じた不具合または損害などについては、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
同サイトにおいて提供する情報は、2017年10月現在の情報に基づいた参考情報であり、具体的な法的または技術的アドバイスを提供するものではありません。

［参考文献］国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修『温暖地版 自立循環型住宅へのガイドライン』一般社団法人建築環境・省エネルギー機構、2015年
省エネ講習会資料作成WG監修『住宅省エネルギー技術施工技術者講習テキスト（施工版）平成28年省エネルギー基準対応』木を活かす建築推進協議会、2016年
「断熱工法について 天井の断熱施工（桁上断熱）」ガラス繊維協会ウェブサイト